NTT docomo

N-06D

クイックスタートガイド　'12.3

MEDIAS TAB

詳しい操作説明は、N-06D に搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

MEDIAS

はじめに

「N-06D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

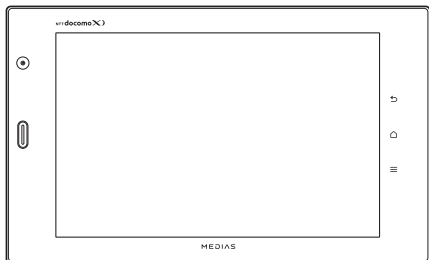
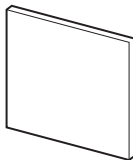
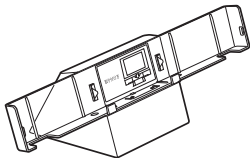
- N-06DはLTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、データ通信を無効に設定した場合でもパケット通信料がかかる可能性があります。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
基本的な機能の操作について説明しています。

■「eトリセツ（取扱説明書）」（本端末のアプリケーション）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
・ホーム画面で▦をタップし、eトリセツをタップする

■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

N-06D（保証書含む）

N-06Dクイックスタートガイド（本書）

卓上ホルダ N39

microSDHCカード（16GB）※（試供品）

※お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

● 「オプション・関連機器のご紹介」→P.41

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書の記載について

- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
ホーム画面で[≡] ▶「設定」 ▶「通話設定」	ホーム画面で[≡]をタップする ▶「設定」をタップする ▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『N-06D』を『本端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によって本端末の表示・操作が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

N-06Dのご利用にあたっての注意事項

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Android™ 向けアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、ワンセグの視聴、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で［≡］▶「設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.47
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク™、Gmail™、Android マーケット™などのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- Wi-Fiテザリングの初期設定では、セキュリティは設定されておりません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

●充電中に、「ケーブル接続中または充電中であるため、FeliCa機能を起動できません。」と表示される場合があります。表示させない設定に変更する場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを開き、ICタグ・バーコードリーダーの通知をタップして、ICタグの読取モード設定をOFFに変更してください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
→P.21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.13「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂	UVコーティング
	背面		
	上面および下面	PC樹脂	UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム、UVコーティング
カメラライトおよび赤外線ポートパネル		PC樹脂	UVコーティング
カメラパネル		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
受話口部		ABS樹脂	UVコーティング
ストラップピン		ステンレス	ニッケルメッキ
キー	電源キー	PC樹脂	UVコーティング
	ボリュームキー		
外部接続端子キャップ microSDカードスロットキャップ ドコモminiUIMカードスロットキャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	フッ素コーティング
ワンセグアンテナ	上段および中段	ステンレス	-
	下段	ニッケルチタン合金	-
	根元ヒンジ部	ステンレス	-
	先端キャップ	ABS樹脂	-
充電端子		黄銅	金メッキ
φ3.5イヤホンジャック		ナイロン樹脂	-

6. microSDHCカード（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙した時は、すぐにパソコンなどの使用機器および周辺機器のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、microSDカードには触らないでください。
再び使用せずに、本書裏面の「NECモバイルインフォメーションセンター」へお問い合わせください。

⚠注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと窒息またはけがの恐れがあります。万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

端子部に直接触れたり金属や硬い物をあてたり、ショートさせたりしないでください。
静電気などによりデータが破壊、消失する恐れがあります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

microSDカードは、SDメモリカード規格標準のフォーマット済みです。microSDカードをフォーマットする場合は、microSDカードに記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。
パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込み、あるいは読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **N-06Dは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

- **バイブレータの振動で本端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
- **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **受話口や送話口／マイク、スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  本端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

アダプタについてのお願い

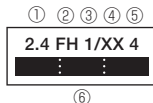
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。
- 卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
  けがなどの事故や破損の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

①　②③④⑤
2.4 FH 1/XX 4
⑥

① 2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH	：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ XX	：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑥	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1.本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3.その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●**周波数帯について**

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で[≡]▶「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」

ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS ：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF ：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4 ：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬▬▬ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・利用可能なチャンネルは国により異なります。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
・WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2.万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

microSDHCカード（試供品）についてのお願い

- **水をかけないでください。**
  microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **金属端子部はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **金属端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **お客様ご自身で、microSDカードに登録された情報内容は、別にバックアップを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSDカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカード使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。**
- **microSDカードは、長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。**
- **試供品は無料修理保証の対象外となっております。**

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください（通話を除く）。**

防水／防塵性能

N-06Dは、外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップを閉じた状態でIPX5[※1]、IPX7[※2]の防水性能と、IP5X[※3]の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにN-06Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときは、外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  - ・外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップが開かないようにしっかり閉じた状態で洗ってください。
  - ・洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - ・送話口／マイクや受話口、スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  - ・温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - ・風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

- ご使用前に、外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の侵入の原因となります。
- イヤホンマイク端子の中に埃が入った場合は、取り除いてご使用ください。
- 水中で本端末を使用（キー操作など）しないでください。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

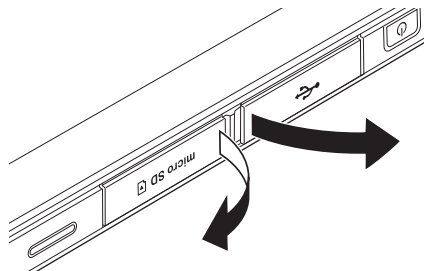
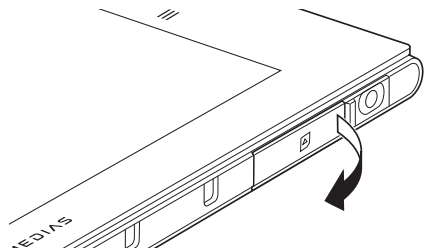
<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

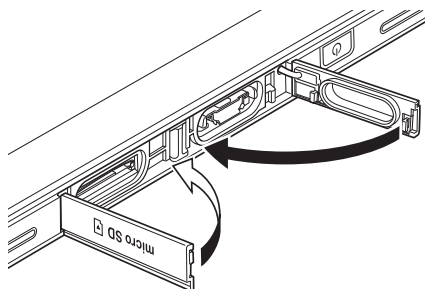
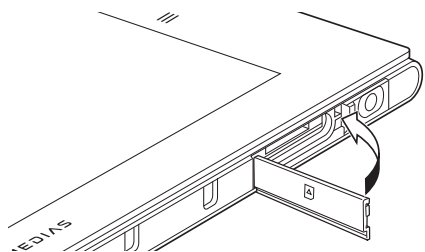
海水

プール

温泉

外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップの開けかた

外部接続端子キャップ／
microSDカードスロットのキャップ

ドコモminiUIMカードスロットのキャップ

■閉じかた

図のように矢印の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。

外部接続端子キャップ／
microSDカードスロットのキャップ

ドコモminiUIMカードスロットのキャップ

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は本端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

重要事項

- 外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切った状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 本端末が濡れた状態でイヤホンを挿さないでください。故障の原因になります。
- 外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形した場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子キャップ、microSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵の侵入の原因となることがあります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（P.21）以上の強い水流（たとえば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。N-06DはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに本端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 送話口／マイクや受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイクや受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。水滴が付着していると通話音量や着信音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

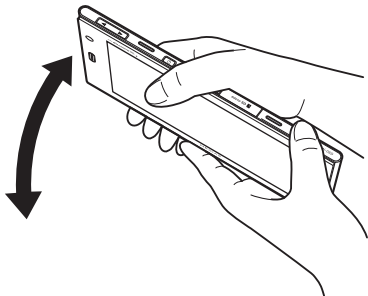
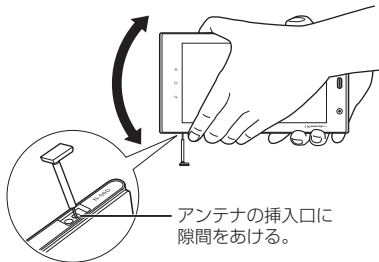
水に濡れたときの水抜きについて

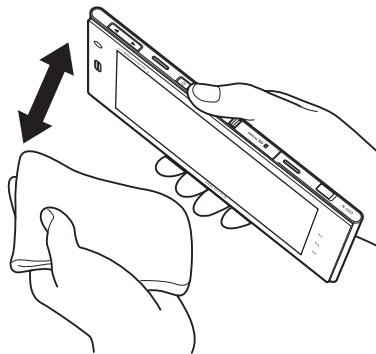
本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

●送話口／マイクや受話口、スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

❶ 本端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

❷ 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

・送話口／マイクや受話口、スピーカーから水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

・ワンセグ／モバキャスアンテナに水が入った場合は、以下のイラストのように、アンテナを途中まで伸ばした状態で、本端末を振ってください。

③ 送話口／マイクや受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子のすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当てて拭き取る

・すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

・水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

●本端末が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。

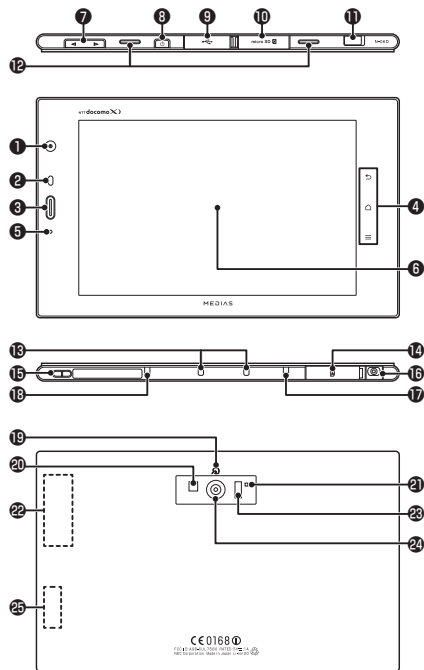
●外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

・本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。

・濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

・ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能

❶内側カメラ
❷近接／照度センサー
- 周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動で調整します。

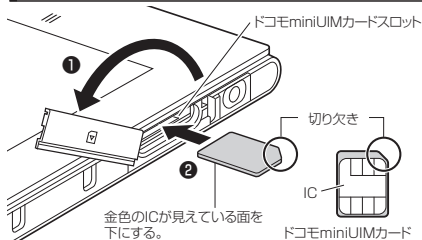
❸受話口
❹タッチキー→P.29
❺お知らせLED
- 充電中
- 着信時（着信ランプ）
- 不在着信、新着メール（お知らせランプ）

❻ディスプレイ（タッチパネル）
❼ボリュームキー
❽電源キー
❾外部接続端子
- 充電時やパソコン接続時などに使用する接続端子です。

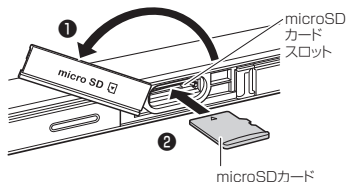
❿microSDカードスロット
⓫ワンセグ／モバキャスアンテナ
⓬スピーカー
⓭充電端子
⓮ドコモminiUIMカードスロット
⓯ストラップ取付穴
⓰イヤホンマイク端子
- ヘッドホンなどを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⓱送話口／マイク
⓲マイク
⓳マーク
⓴ライト
㉑撮影認識LED
㉒Xiアンテナ※
㉓赤外線ポート
㉔外側カメラ
㉕GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※
※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

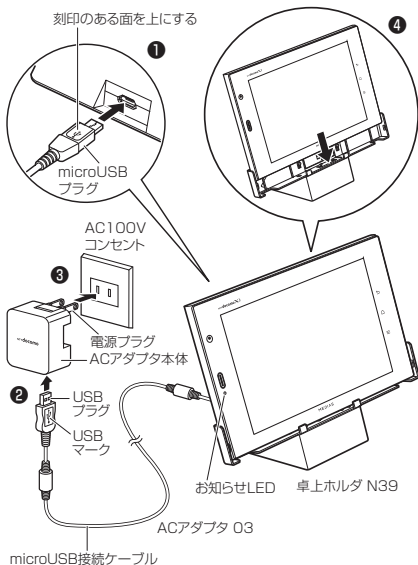
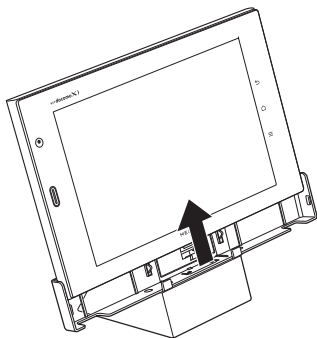
ご利用前の準備

ドコモminiUIMカードの取り付け

■取り外し
ドコモminiUIMカードを押し込むとドコモminiUIMカードが少し出てきます。

microSDカードの取り付け

●対応のmicroSDカードについては各microSDカードメーカへお問い合わせください。

■取り外し
microSDカードを押し込むとmicroSDカードが少し出てきます。

充電する

●付属の卓上ホルダ N39とACアダプタ 03（別売）※を使って充電します。
※ACアダプタ 03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

■取り外し
充電が終了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を取り外します。

おしらせ

- 卓上ホルダを使用しない場合は、microUSBプラグを本端末の外部接続端子に差し込みます。
- 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）などで接続して、本端末を充電することができます。
- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 充電が終了したら、コンセントや本端末から、接続したケーブルなどを抜いてください。

電源を入れる

1 電源キーを2秒以上押す

■電源を切る
電源キーを1秒以上押す ▶「電源を切る」▶「OK」

スリープモードについて

電源キーを押したり、本端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
電源キーを押して、スリープモードを解除できます。

画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。
🔒をタップすると、ロックが解除されます。

基本操作

本端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

■タップ
タッチパネルに軽く触れることで、項目の選択や実行を行います。

■ロングタッチ
タッチパネルに長く触れることで、メニューが表示される場合があります。

■スライド
タッチパネルに触れたまま指を動かすことで、画面をスクロールします。

■ドラッグ
アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

■フリック
すばやくスライドし指を離すことで、表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。

■2本の指の間隔を広げる／狭める
2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドして、画面を拡大／縮小します。

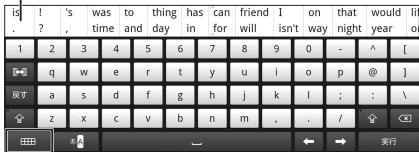
> **タッチパネル利用上の注意**
> タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
> 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
> ・手袋をしたままでの操作
> ・爪の先での操作
> ・異物を操作面にのせたままでの操作
> ・保護シートやシールなどを貼っての操作
> ・タッチパネルが濡れたままでの操作
> ・指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチキーの操作

- [≡]：表示している画面で実行できるメニューを表示します。
- [⌂]：機能を利用しているときなどにホーム画面を表示します。また、ロングタッチすることで、タスク管理を行うことができます。
- [↩]：一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

文字を入力する

テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

文字入力時に変換・推測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。

電話帳のデータを引用できます。

顔文字や記号、定型文などを入力できます。

手書きで文字を入力できます。

テンキーキーボード（携帯電話で一般的なキーボード）に切り替えます。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定を行います。

1. **言語をタップ▶「次へ」**
2. **表示内容を確認▶「次へ」**
   以降、画面に従って以下の設定を行います。
   - Google アカウントの設定
   - Google 位置情報の利用
   - GPS機能の利用
3. **ソフトウェア更新に関する説明が表示されたら、確認し「次へ」**
4. **ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「進む」**
   以降、画面に従って以下の設定を行います。
   - アプリ一括インストール
   - おサイフケータイの初期設定
   - ドコモアプリパスワードの設定
   - 位置提供設定
5. **「OK」**

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[⌂]をタップして呼び出すことができます。

※画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

■ホーム画面のページを切り替える

▶右または左にホーム画面をフリック

ステータスバーについて

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコン（左側）や、本機の状態を示すステータスアイコン（右側）が表示されます。

主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
※	電波状態
※	国際ローミング中
	圏外
／※	LTE通信中／使用可能
／※	3G通信中／使用可能
／※	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
※	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi接続中（Auto-IP時）
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	データ同期中
	おサイフケータイ ロック設定中
	ドコモminiUIMカード未挿入
	アラーム設定中
	通話中にスピーカーON
	マイクミュート設定中
／	マナーモード（バイブレーションON／OFF）
	ecoモードON（ecoが灰色：お好みecoモード ecoが水色：しっかりecoモード）
	GPS測位中
	モバキャス設定の「外付けアンテナを使用する」が有効
漢／あ／ア／A／数／／	入力文字種（漢字／ひらがな／カタカナ／英文字／数字／絵文字・顔文字・記号・定型文・文字コード／T9入力）

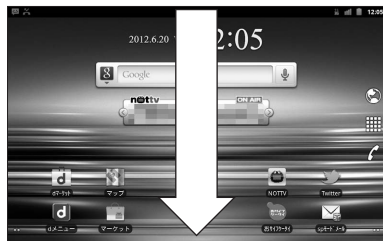
※Googleのアカウントを設定している（同期している）場合は青色に、設定していない（同期していない）場合は灰色になります。

主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着spモードメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
	留守番電話あり
	新着インスタントメッセージあり
	エリアメールあり
	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	メディアプレイヤー再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	USB接続中
／	通話中／保留中

アイコン	説明
	不在着信あり
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	MEDIAS NAVIの更新あり
	ソフトウェア更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	PC Link接続中
	PC Link利用可能
	PC Linkの確認メッセージあり
	USB PC Linkで接続中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	システムメモリに空き容量なし
	USBテザリング利用中
	Wi-Fiテザリング利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中
／	VPN（PPTP）接続中／切断
	VPN（IPSec／L2TP）接続中
	モバキャスの電波状態

通知パネルについて

通知パネルを開いて不在着信やダウンロードの完了などの情報を確認できます。

ステータスバーを下までドラッグ

通知情報が表示されます。

マナーモードやecoモードなどの切替ができます。

※画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

■通知パネルを閉じる

▶通知パネルの下部を上にドラッグ

アプリケーション一覧画面

本端末ではアプリケーションを起動して、電話やメール、カメラなどの機能を利用します。

アプリケーションとウィジェットの表示を切り替えます。

アプリケーション

※画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

ロック／セキュリティ

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- ●設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ●暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ●各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- ●PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 他の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

ドコモminiUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

1. ホーム画面で［≡］▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「PIN設定」
2. 「PIN1コード入力設定」

   ■PIN1コードを変更する場合
   ▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」
   ・あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。
3. PIN1コードを入力▶「OK」

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ドコモminiUIMカードのPINロックを解除する

- PIN1がロックされた旨のメッセージが表示されたら、以下のように解除します。
  「緊急通報」▶「＊＊05＊［PINロック解除コード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力
- 例えば、PINロック解除コードが「88888888」で、ドコモminiUIMカードのPIN1コードを「2580」に変更する場合は、「＊＊05＊88888888＊2580＊2580#」と入力します。

デバイス管理者を設定する

本端末の管理者を有効／無効に設定します。

- おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効にする必要があります。2012年2月現在、おまかせロックはご利用いただけません。

1. ホーム画面で［≡］▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「デバイス管理者を選択」
2. 管理者を選択▶「有効にする」／「無効にする」

電話／メール／ブラウザ

電話

電話をかける

1. アプリケーション一覧画面で「電話」▶「ダイヤル」
2. 電話番号を入力
   - 電話番号の入力を間違えた場合は、[⌫]をタップして入力した番号を消去します。

   ■発信者番号通知を手動で設定する

   ▶[≡]▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」
   - 電話番号の前に「186」／「184」を付けても、番号通知／番号非通知を設定できます。

   ※その発信に限り有効です。
3. 「[📞]」

   ■通話音量を調整する

   ▶ボリュームキーを押す
4. 通話が終了したら「[終話]」

通話履歴から電話をかける

1. アプリケーション一覧画面で「電話」▶「着信履歴」／「発信履歴」
2. 「[📞]」
3. 通話が終了したら「[終話]」

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やロックNo入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。
- 日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。PINコードについて詳しくは「ロック／セキュリティ」(P.33)を参照してください。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」

■着信を拒否する

▶「操作開始」▶「拒否」

■応答を保留にする

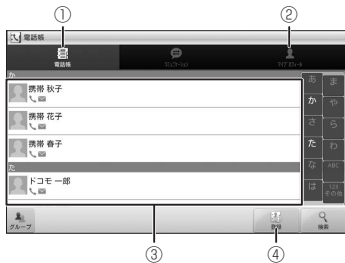
▶[≡]▶「応答保留」

・電話がつながった状態のまま保留します。

2 通話が終了したら「 」

電話帳を利用する

電話帳には電話番号、Eメールアドレスなどを登録できます。

❶ アプリケーション一覧画面で「電話帳」

電話帳一覧画面

①電話帳一覧画面を表示します。

②自分のプロフィール（マイプロフィール）を表示します。

③電話帳の詳細（プロフィール）を表示します。

- 画像をタップして表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成することができます。

④電話帳を新規登録します。

- 名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力して「登録完了」をタップします。

■電話帳をmicroSDカードにインポート／エクスポート、ドコモminiUIMカードからインポートする

▶［≡］▶「その他」▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート……ドコモminiUIMカードから本端末に電話帳を読み込みます。

SDカードからインポート……microSDカードから本端末に電話帳を読み込みます。

SDカードにエクスポート……本端末からmicroSDカードに電話帳を保存します。

表示可能な電話帳を共有……表示可能なすべての電話帳を、Bluetooth通信やメールで送信します。

メール

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントを本機に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

■Eメールを作成して送信する
▶［≡］▶「作成」▶「To」に送信相手のメールアドレスを入力▶「件名」に件名を入力▶「メッセージを作成」にメッセージを入力▶「送信」

■メールボックスを開く
▶［≡］▶「フォルダ」

その他のメールについて

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信します。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

緊急速報「エリアメール」

本端末が圏内にあるときに、気象庁や自治体から配信される緊急情報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 以下の場合はエリアメールを受信できません。
  - ・圏外時
  - ・電源OFF時
  - ・国際ローミング中
  - ・機内モード中
  - ・他社のSIMカードをご利用時
  - ・通話中
- 以下の場合はエリアメールを受信できない場合があります。
  - ・パケット通信中（データ通信中）
  - ・Wi-Fiテザリング利用中
  - ・USBテザリング利用中
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・メジャーアップデート中
  - ・システムメモリの空き容量が少ないとき
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」受信

内容通知画面が表示され、ブザー音（緊急地震速報）／着信音（緊急地震速報以外（災害・避難情報など））とバイブレーション、お知らせLEDの点滅でお知らせします。

- ブザー音や着信音の音量は変更できません。

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 アプリケーション一覧画面で「エリアメール」▶エリアメールをタップ

ブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

❶ **アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」**

アドレスバー

❷ **アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力**

❸ **「実行」または候補リストから表示したいウェブページをタップ**

■スクロール

- スクロールしたい方向にスライド→P.28

■拡大／縮小

- 拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.29
- 拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

- [↩]で前のページに戻る、[≡]▶「進む」で次のページに進む

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 卓上ホルダ N39
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- ACアダプタ 03
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- FOMA DCアダプタ 01※／02※
- DCアダプタ 03
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 補助充電アダプタ 02※
- FOMA 乾電池アダプタ 01※
- 骨伝導レシーバマイク 02
- ポケットチャージャー 01／02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01
- イヤホンマイク 02
- ステレオイヤホンマイク 02
- イヤホン変換アダプタ 02
- アンテナ付イヤホン変換ケーブル SH01

※FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

おしらせ

- お客様のご利用環境によっては、モバキャス受信に影響が出る可能性があります。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.47
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

本端末の電源が入らない	
●電池切れになっていませんか。	-

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。	P.27

●FOMA充電microUSB変換アダプタ N01（別売）とACアダプタ 01／02（別売）を使用する場合、FOMA充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ 01／02、およびFOMA充電 microUSB変換アダプタ N01と本端末が正しく接続されていますか。 また、付属の卓上ホルダを使用する場合、ACアダプタが付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。	P.27
●付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	-
●パソコンを使用して充電する場合、パソコンの電源が入っていますか。	-
●パソコンを使用して充電する場合、他のUSB機器は取り外してください。	-
●パソコンを使用して充電する場合、電源供給されているパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。	-
●パソコンを使用して充電する場合、本端末の電池残量が完全になくなっていませんか。ACアダプタなどでしばらく充電を行ってから接続してください。	-
●パソコンを使用して充電する場合、パソコン側コネクタおよび本端末側コネクタがしっかりと差し込まれていますか。	-
●パソコンを使用して充電する場合、卓上ホルダでは充電できません。	-
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	-

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	-
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、本端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	-

電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	-
●内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	-
●内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	-

タップしたり、キーを押しても動作しない	
●本端末の電源が切れていませんか。	P.28
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.28
●画面ロックされていませんか。	P.28
●スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください。	P.28
●電源キーを押し続けることで、本端末を再起動することができます。	-
ドコモminiUIMカードが認識されない	
●ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.27

本端末の動作が不安定	
●ご購入後に本端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 **■セーフモードの起動方法** 電源がOFFの状態から電源を入れ、防水に関する注意喚起のイラストの画面が表示されてから、ホーム画面が表示されるまで、[≡]を押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面の左下に「セーフモード」と表示されます。 ※お客様のインストールしているアプリケーションによっては、[≡]を押すタイミングが変わる場合があります。上記の操作でセーフモードが起動しない場合は、[≡]を押すタイミングを前後にずらしてください。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	-

付録

■通話

の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.31
通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを入れ直してください。	-
●電波の性質により、を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	-
●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	-
通話中、などが画面に表示されない／通話中、ディスプレイに何も表示されない	
●スリープモードを解除してもなどが表示されない場合、近接センサーが保護シートなどで隠れている可能性があります。近接センサーを隠さないようにしてください。また、スリープモードを解除して、[≡]または[↩]をタップすると、などを表示させることができます。	P.26

エラーメッセージ

PIN1がロックされました。 PINロック解除コードを入力してください。	
●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、「＊＊05＊［PINロック解除コード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力してください。	P.35
PUKがロックされました。	
●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモminiUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.35

付録

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、本端末の修理などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みの他の端末などに移行を行っておりません。
  ※本端末は、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口、スピーカー、GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ付近
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

本端末ではソフトウェアを最新の状態に更新することができます。

- 本端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新します。
- ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

1. **ホーム画面で［≡］**
2. **「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」**

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
ホーム画面で［≡］▶「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-06Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.076W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS DEVICE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your device is a radio transmitter and receiver. Your device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in position and locations (for example, at the ear and placed on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this device as reported to the FCC when held-to ear is 0.04 W/kg, and when placed on the body, is 0.92 W/kg.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at
https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-CUL7580.
This device has been tested for RF Exposure and meets the FCC RF exposure guidelines.

---

* In the United States and Canada, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This device generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this device does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

Hereby, NEC CASIO Mobile Communications, Ltd. declares that this product is compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

付録

CE 0168 ⓘ

This product uses non-harmonised frequency and is intended for use in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* values, when tested for compliance against the standard were 0.096 W/kg for head configuration and 0.517 W/kg for body worn configuration. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「mopera」「mopera U」「おサイフケータイ」「公共モード」「spモード」「エリアメール」「ｅトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2012 Aplix Corporation. All Rights Reserved.
  emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

付録

- microSD、microSDHCは、SD-3C, LLCの商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「モバキャス」は携帯端末向けマルチメディア放送（V-Highマルチメディア放送）の総称です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン･モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」及び「NOTTV」「mmbi」ロゴは、株式会社mmbiの商標または登録商標です。
- 「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」「おまかせコピー」「マルチタスク／MULTITASK」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.、および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Gmail」ロゴ、「Google トーク」、「Google トーク」ロゴ、「Google 音声検索」、「Google 音声検索」ロゴ、「Google マップ」、「Google マップ」ロゴ、「Google マップ ナビ」、「Google マップ ナビ」ロゴ、「Google プレイス」、「Google プレイス」ロゴ、「Google カレンダー」、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Google+」、「Google+」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Latitude」ロゴ、「Google ビデオ」、「Google ビデオ」ロゴ、「Google メッセンジャー」、「Google メッセンジャー」ロゴ、「Picasa」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™およびWPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

- 「G-SHOCK」は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。
- DigiOnおよびDiXiMは、株式会社デジオンの商標です。
- Quickofficeは米国およびその他の国における米国Quickoffice, Inc.の商標または登録商標です。

- DLNA®、DLNAロゴ及びDLNA CERTIFIED®はDigital Living Network Allianceの登録商標、サービスマークあるいは認証マークです。

- TouchSense® Technology Licensed from Immersion Corporation.
  Immersion TouchSense 3000 and MOTIV™ protected under one or more of the U.S. Patents at the following address http://www.immersion.com/haptics-technology/patent-marking/index.html.

immersion

- WOW HDX、SRSと（O）記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
  SRS WOW HDX™は、深く豊かな低音、クリアーな高音、そして左右拡がりのあるステレオ感を提供する技術で、再生オーディオの音質を著しく改善することができます。
- Audyssey Laboratoriesからのライセンスに基づき製造されています。米国及び外国特許審議中。Audyssey Premium MobileはAudyssey Laboratoriesの商標です。
  Audyssey Premium Mobile™は携帯電話、スマートフォン、タブレットの様々な音響問題を解決します。スピーカーやヘッドフォンの音質改善、低音の拡張、歪を押さえた迫力ある大音量再生を実現します。

ΛUDYSSEY
PREMIUM MOBILE

-
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）およびAVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
  - MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

  上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。（http://www.mpegla.com参照）
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
   Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

付録

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、日本電気株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 著作権を含む知的財産権を保護するため、コンテンツ権利者はMicrosoft PlayReady™を採用しています。PlayReadyで保護されたコンテンツまたはWMDRM（Windows Media Digital Rights Management）で保護されたコンテンツにアクセスするため、本製品はPlayReadyを使用します。コンテンツ使用に対する適切なアクセス制限を本製品が施していない場合、PlayReadyで保護されたコンテンツを使用する機能を無効にするようコンテンツ権利者はMicrosoftに対し要求することができます。この無効化によって何も保護されていないコンテンツまたはPlayReady/WMDRM以外の保護技術で保護されたコンテンツが影響を受けることはありません。PlayReadyをアップグレードするよう、コンテンツ権利者はお客様に要求することができます。PlayReadyのアップグレードをお客様が拒否した場合、そのアップグレードを必要とするコンテンツにお客様はアクセスできません。

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft®Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
  ①本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ②本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
  GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で[≡]▶「設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 機内モード：電波を発する機能を有効／無効にします。

■ マナーモード：着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ただし、シャッター音は消せません。

■ 公共モード（電源OFF）：電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブレータ：電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600＊**(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-06Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600 でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414＊**(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-06Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414 でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象:携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先〈NEC モバイルインフォメーションセンター〉

■一般電話からの場合

0120-102001

■携帯電話からの場合

0570-064919

※PHS からは受付ができないため、一般電話／携帯電話からおかけください。

受付時間　平日　午前 9：00 ～ 12：00
午後 1：00 ～ 5：00
（土・日・祝日・NEC 所定の休日を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　日本電気株式会社

'12.3（1版）
MDT-000174-JAA0 S

再生紙を使用しています